

吉川英梨さんが新連載 次号から「海蝶ノート」

吉川英梨さん



海上保安友の会理事で作家の吉川英梨さんの新作「海蝶」が9月1日、講談社から刊行されました。吉川さんの30作目となる長編小説で、主人公は「海上保安庁初の女性潜水士」。期待されながらも現場のお荷物となる中で難事件に直面し、成長していくヒューマンドラマです。

巡視船艇や海上保安部、海上保安大学校、海上保安試験研究センターなど海上保安庁のさまざまな現場や現役職員らを2年間にわたり徹底取材しており、情景描写や登場人物の存在感に

リアリティが満ちています。

海上保安新聞では次号9月10日号で、作品の「メイキングもの」ともいえる「海蝶ノート」の連載をスタートします。取材の裏話や、海と海上保安への思いなどについて吉川さんに健筆をふるってもらいます。どうぞご期待ください。

(4面に関連記事)



新作「海蝶」の表紙